



Obon：授業アイデア（簡単版）

お盆をテーマにした英語の授業アイデア 5本

Class _____ No. _____ Name _____

1. 精霊馬で英語プレゼン

中学・20分

- 🌀 身近な飾りを手に、お盆の意味を英語3～4文で説明できるようにする。
- 1. 精霊馬の写真（または実物）を見せ、何に見えるか英語で予想させる（It looks like a horse.）。
- 2. 本文の第1・2段落を音読し、馬と牛の意味を確認する。
- 3. This is a _____. It is _____, so _____. の型で、ペアで説明文を作る。
- 4. ALT や友だちに向けて30秒で発表する。

2. 世界の「霊が帰ってくる日」比較ポスター

高校・50分

- 🌀 お盆と中元節・チュソク・死者の日などを比べ、共通点と違いを英語でまとめる。
- 1. グループごとに国別くらべの表から1つの行事を担当する。
- 2. 日付・期間・飾り・食べ物・考え方の5項目を英語で調べてまとめる。
- 3. お盆と比べて、Both ____ and Obon _____. / But _____. の文を3つ書く。
- 4. ポスターを掲示し、ギャラリーウォークで他班の行事にコメントを書く。

3. なぜ日付が3つ？暦の謎解き

高校・30分

- 🌀 1873年の改暦とお盆の日付の関係を理解し、英語で原因と結果を説明する。
- 1. 7月盆・8月盆・旧盆の地図を見せ、なぜ違うのか予想させる。
- 2. advanced の英文を読み、because / so / however に印をつける。
- 3. 原因と結果を1枚の図にまとめ、英語で1分説明する。

4. 盆踊りを英語の指示で踊ろう

小学校・15分

- 🌀 動作の英語（clap, step, turn）を体で覚え、日本の踊りを楽しむ。
- 1. 炭坑節など簡単な盆踊りの動きを、clap your hands / step forward / turn around などの英語で指示する。
- 2. 先生のまねをしながら輪になって踊る。
- 3. 子どもが交代で英語の指示を出す。

5. 外国人のホストにお盆を説明するロールプレイ

英会話教室・25分

- 🌀 会話文をもとに、質問に答えながらお盆を説明する力をつける。
- 1. 会話文を役割を決めて読み、説明の流れ（何か→意味→過ごし方）をつかむ。
- 2. 質問カード（Is it a holiday? / Is it sad? / Why a cucumber?）を引いて答える練習をする。
- 3. 自分の家のお盆の過ごし方を入れて、オリジナルの会話を作り発表する。



1. 精霊馬で英語プレゼン

授業手順書（詳細版）／対象：中学／20分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

精霊馬（きゅうりの馬・なすの牛）を見せながら、This is a _____. It is _____, so _____. の型を使って、お盆の意味を英語3～4文で説明できる。

準備

- 精霊馬の写真、または実物（きゅうり・なす・割りばし）
- 基本セット p.3 のマッチングの絵（cucumber / eggplant / horse / cow）を拡大したカード
- このサイトの英語ページ本文の第1・2段落のプリントと音声
- 発表の型を書いた短冊（This is a _____. It is _____, so _____.）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	足のついたきゅうりの写真（実物）を見せ、「これは何に見える？」と英語で聞く。It looks like a _____. の形で予想を言わせ、いくつか出たところで「馬」だと明かす。続けてなすの牛も見せ、同じように予想させる。	写真や実物を見て、It looks like a horse / dog / cow. などと予想を言う。	"Look at this. It's a cucumber. But it has legs!" "What does it look like? It looks like a ____." "A dog? A horse? Yes, it's a horse." "And this eggplant? What animal is it?"
展開1	6	英語ページ本文の第1・2段落を音声のあとについて音読する。The fast cucumber horse brings them home quickly. と The slow eggplant cow takes them back slowly, so they can stay longer. の2文に線を引かせ、馬は「早く帰ってきてほしい」、牛は「ゆっくり帰ってきてほしい」という気持ちを表すことを確認する。spirit / ancestor の意味も押さえる。	本文を音読し、馬と牛の意味が書かれた2文に線を引く。spirit と ancestor の意味を確かめる。	"Let's read paragraphs 1 and 2 after the audio." "Why a horse? A horse is fast. The spirits come home quickly." "Why a cow? A cow is slow. So the spirits can stay longer." "Spirit means 霊. Ancestor means 先祖."
展開2	6	型（This is a _____. It is _____, so _____.）を板書し、ペアで馬と牛の説明文を作らせる。4文目に Obon is a festival for our ancestors. を足すとわかりやすいと伝える。でき上がったら、精霊馬（写真）を手に持つ練習をしながら2回読ませる。	ペアで型に合わせて説明文を作り、写真を持って読む練習をする。	"Make your speech with your partner." "This is a horse. It is fast, so the spirits come home quickly." "Add one more sentence. Obon is a festival for our ancestors." "Practice twice. Hold the picture and show it."
まとめ	4	ALT（いなければ先生）や別のペアに向けて30秒で発表させる。聞く側は Why a cucumber? などと質問を1つする。最後に「お盆は祝日ではないが、多くの会社が休みになる」ことを補足して終わる。	精霊馬を見せながら30秒で発表する。聞く側は質問を1つする。	"Show your horse and cow to the ALT. You have 30 seconds." "Listeners, ask one question. Why a cucumber?" "Great job! Your speech was easy to understand." "Remember, Obon is not a national holiday, but many companies close."

板書例

Obon = a Buddhist summer festival for ancestors（先祖）

🥒 cucumber → horse fast → The spirits come home quickly.

🍆 eggplant → cow slow → The spirits go back slowly.

This is a _____. It is _____, so _____.

Obon is a festival for our ancestors.

質問：Why a cucumber? / Why a cow?

評価のポイント

- 馬と牛の意味を、so を使って理由つきで言えたか（発表で確認）。
- spirit / ancestor を使って、お盆が何の行事かを1文で言えたか。
- 精霊馬を見せながら、聞き手に向かって話せたか。

つまづきへの手だて

- 文が作れない生徒には、空所に入る語（fast / slow / quickly / slowly）を選択肢として渡す。
- quickly と slowly の区別があいまいな生徒には、手を速く動かす・ゆっくり動かすジェスチャーで確認する。
- 発表が不安な生徒は、ペアで1文ずつ交代で言ってよいとする。

発展

- If I made a spirit animal, I would make a ____ from a _____. の文を作る（英語ページの discussion より）。
- 基本セット p.2 の TF（The eggplant cow is slow. など）で内容を確認する。
- 基本セット p.6 の迷路（Help the cucumber horse bring Grandpa home!）に取り組む。

使う教材

- このサイトの英語ページ本文（第1・2段落）と音声
- 基本セット p.2（TF）
- 基本セット p.3（マッチング）
- 基本セット p.6（迷路）



2. 世界の「霊が帰ってくる日」比較ポスター

授業手順書（詳細版）／対象：高校／50分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

中元節・ヴーラン・チュソク・ブチュム・バン・死者の日などとお盆を5つの観点で比べ、Both ____ and Obon ____ / But ____ の文で共通点と違いを英語でまとめられる。

準備

- 記事の国別くらべの表（中国・台湾の中元節、ベトナムのヴーラン、韓国のチュソク、カンボジアのブチュム・バン、メキシコの死者の日、イタリアの万霊節）を班の数だけ印刷
- 模造紙またはA3の紙、マーカー、付せん（ギャラリーウォークのコメント用）
- アクティビティ集 B5 国くらべの表（日付・期間・飾り・食べ物・考え方の5項目）
- 調べものの用の端末（班に1台）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	英語ページの会話で、ソフィーが It sounds like the Day of the Dead in Mexico. という場面を聞かせる。「亡くなった人が帰ってくる日は、世界にくつもある」と伝え、班ごとに担当の行事を1つ決める。	会話を聞き、死者の日を知っているか答える。班の担当行事を確認する。	"Listen to Sophie. What does she say about Obon?" "She says it sounds like the Day of the Dead in Mexico." "Many countries have days when the dead come home." "Each group will make a poster about one festival."
展開1	15	国別くらべの表をもとに、日付・期間・飾り・食べ物・考え方の5項目を英語でまとめさせる。表にない情報は端末で調べてよいが、出典を1つ書かせる。たとえばカンボジアのブチュム・バンは15日間、7代前までの先祖のためにお米のだんごを空中に投げて供える、など具体的な細部を入れるよう促す。	担当の行事について5項目を英語でまとめ、出典を書く。	"Fill in five boxes: date, length, decorations, food, and beliefs." "Use the table first. Then check one more source online." "Write short sentences. Pchum Ben lasts 15 days." "Find one detail that will surprise your classmates."
展開2	10	お盆と担当の行事を比べ、Both ____ and Obon ____ / But ____ の文を3つ書かせる。例を板書する（Both Chuseok and Obon are times to go home. But Chuseok is in autumn.）。ポスターに5項目の表と3つの比較文、絵や写真を入れて仕上げさせる。	比較の文を3つ書き、5項目の表と一緒にポスターにまとめる。	"Now compare your festival with Obon. Write three sentences." "Both Chuseok and Obon are times to go back home." "But Chuseok is in autumn, and Obon is in summer." "Put your table, your sentences, and a picture on the poster."
展開3	15	ポスターを教室の壁に貼り、ギャラリーウォークをする。各班1人がポスターの前に残って説明し、ほかの生徒は回りながら付せんに英語のコメントや質問を書いて貼る（I didn't know ____ / Why do people ____?）。途中で説明役を交代させる。	他班のポスターを見て、英語でコメントや質問を付せんに書く。説明役は質問に答える。	"Put your posters on the wall. Walk around and read." "Write a comment on a sticky note. I didn't know that people throw rice balls!" "You can also ask a question. Why do people wear a white rose?" "Speakers, change now. Let your partner explain."
まとめ	5	各班に、もらったコメントを1つ読み上げさせる。最後に「どの行事にも共通していたことは何か」を全体に聞き、Families remember the dead. / They come home. などの答えを板書してまとめる。	もらったコメントを紹介し、すべての行事に共通する点を考えて答える。	"Read one comment that you got." "What do all these festivals have in common?" "Yes. People remember the dead, and families get together."

板書例

Festivals for the dead around the world

観点：date / length / decorations / food / beliefs

China・Taiwan Ghost Festival (旧暦7/15) paper money
Vietnam Vu Lan red rose / white rose
Korea Chuseok (旧暦8/15) go home, clean graves
Cambodia Pchum Ben 15 days, rice balls in the air
Mexico Day of the Dead (11/1・2) marigolds

Both ____ and Obon ____.

But ____.

コメント：I didn't know ____ / Why do people ____?

評価のポイント

- 5項目すべてを、正確な英語で埋められたか（ポスターで確認）。
- Both ____ and Obon ____ / But ____ の文で、共通点と違いを3つ書けたか。
- ギャラリーウォークで、内容に沿ったコメントや質問を英語で書けたか。

つまずきへの手だて

- 英語で調べるのが難しい班には、国別くらべの英文（People burn paper money for the spirits. など）を出発点にしてよいと伝える。
- 比較の文が書けない生徒には、観点（date / food など）を1つ選ばせ、Both ____ and Obon have ____ の形だけで書かせる。
- 付せんに何を書くか迷う生徒には、I like ____ / I didn't know ____ の2つの型だけを渡す。

発展

- ハワイやカリフォルニアの日系寺院で開かれるボン・ダンスについて調べ、ポスターに1枚加える。
- 基本セット p.7 の作文（Obon is like _____ in _____ because _____）を書く。
- 英語ページの discussion（お盆と死者の日の似ている点・違う点）でペアトークをする。

使う教材

- 記事の国別くらべの表
- アクティビティ集 B5（国くらべ）
- 基本セット p.7（作文）
- このサイトの英語ページの会話と音声



3. なぜ日付が3つ？ 暦の謎解き

授業手順書（詳細版）／ 対象：高校／ 30分

Class

No.

Name

ねらい

1873年の改暦がお盆の日付を7月・8月・旧暦の3つに分けた流れを理解し、原因と結果を英語で1分間説明できる。

準備

- 日本地図に7月盆（東京の下町・横浜の中心部など）・8月盆（全国の多くの地域）・旧盆（沖縄など）を色分けしたもの
- 発展セットの英文（One Festival, Three Calendars）のプリント
- 原因と結果の図を書くためのワークシート（矢印つきの枠）
- 2026年のカレンダー（旧暦7月15日が8月27日だったことを示す）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	色分けした地図を見せ、「同じお盆なのに、なぜ地域で日付が違うの？」と問う。ペアで30秒予想させ、何人かに言わせる。「答えは1873年にある」とだけ伝えて、英文を配る。	地図を見て、日付が3つある理由を予想して言う。	"Look at this map. Some places have Obon in July. Most places have it in August." "Okinawa follows the old moon calendar." "Why are there three dates? Guess with your partner." "Here is a hint. The answer is in 1873."
展開1	10	発展セットの英文を黙読させ、原因・結果・対比を示すことば（however / while / In other words / Even so、そして When で始まる文）に印をつけさせる。印をつけた文がそれぞれ何と何を つないでいるかを、ペアで日本語で確認させる。	英文を読み、つなぎのことばに印をつけて、その前後の関係をペアで確かめる。	"Read the passage silently." "Circle the linking words. However, while, in other words, even so." "What does however connect? Talk with your partner." "The government said July 15. However, farmers were too busy."
展開2	10	ワークシートに原因と結果の図を書かせる（1873年 太陽暦へ → 政府は7月15日に → 7月は農作業がいちばん忙しい → 多くの地域が8月15日へ／東京は7月のまま／沖縄は旧暦のまま → 法律上の休日がないまま、8月のお盆休みが経済を動かす）。矢印の上に because / so を書き込ませる。	原因と結果を矢印でつないだ図を書き、矢印に because / so を書き込む。	"Make a chart. Start with 1873." "Japan switched to the solar calendar, so the government said Obon should be on July 15." "July was the busiest season for farmers, so many towns moved it to August." "Write because or so on each arrow."
まとめ	5	図を見ながら、ペアで1分ずつ英語で説明させる（交代して2回）。最後に英文の最後の文 Custom, not law, decided when Japan welcomes its dead. を全員で読み、意味を確認して終わる。	図を使って、日付が3つある理由を1分で英語で説明する。最後の文の意味を確かめる。	"Explain your chart to your partner. You have one minute." "Now switch roles." "Let's read the last sentence together. Custom, not law, decided when Japan welcomes its dead." "So who decided the date of Obon? The people, not the government."

板書例

Why three dates?

1873 solar calendar（太陽暦へ）

↓ so

Government: Obon on July 15

↓ however

July = farmers' busiest season

↓ so

8月盆：most places → August 15

7月盆：Tokyo（一部）→ July 15

旧盆：Okinawa → lunar date（2026年は8月27日）

↓

No legal holiday, but the August break shapes the economy.

Custom, not law, decided the date.

評価のポイント

- however / while / In other words / Even so の前後の関係を正しく説明できたか（ペアの話し合いの見取り）。
- 図の矢印が、1873年から現在まで正しい順につながっているか。
- 1分の説明で、because / so を使って原因と結果を言えたか。

つまづきへの手だて

- 英文が難しい生徒には、英語ページの A2 本文第5段落（In parts of Tokyo, families hold Obon in July, and Okinawa still follows the old moon calendar.）から先に読ませる。
- 図が書けない生徒には、枠に入る語句（1873 / July 15 / busy farmers / August 15 / lunar date）をカードで渡し、並べさせる。
- 1分話せない生徒は、図を指さしながら語句だけで説明してよいとする。

発展

- 中国の中元節やベトナムのグーランも旧暦7月15日であることを確かめ、お盆と同じ日に始まった理由を考える。
- 英語ページの discussion（Should Obon become an official national holiday?）で意見を書く。
- 自分の家のお盆が7月か8月かを家族に聞いてくる。

使う教材

- 発展セット（英文・quiz・paraphrase）
- このサイトの英語ページ本文（第5段落）と音声



4. 盆踊りを英語の指示で踊ろう

授業手順書（詳細版）／対象：小学校／15分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

clap / step / turn などの動作の英語を体で覚え、英語の指示を聞いて盆踊りの動きができる。交代で指示を出すこともできる。

準備

- 炭坑節などの盆踊りの音源（短く切ったもの）
- 動作の絵カード（clap your hands / step forward / step back / turn around / dig / push）
- 輪になって踊れる広さ（体育館や教室の机を下げる）
- 盆踊りの写真（やぐらと太鼓が写っているもの）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	盆踊りの写真を見せ、真ん中の高い台（やぐら）と太鼓をたたく人を指さす。「お盆の夜、大きな輪になって踊る」ことを伝え、動作の絵カードを見せながら clap / step / turn を発音する。	写真を見て、盆踊りを知っているか答える。カードを見ながら動作の英語をまねて言う。	"Look! People are dancing in a big circle." "A man is playing the drum on the stage." "This is Bon dancing. Let's learn some moves." "Clap. Step. Turn. Say it with me."
展開1	5	先生がやってみせながら、英語で指示を出す。最初は音楽なしでゆっくり、1つずつ（Clap your hands. / Step forward. / Step back. / Turn around.）。炭坑節の「掘って掘って」は Dig, dig.、「押して押して」は Push, push. のように動作を英語にする。慣れたら輪になり、音楽に合わせて踊る。	先生のまねをしながら動作をする。輪になって、音楽に合わせて踊る。	"Watch me. Clap your hands. Clap, clap, clap." "Step forward. Step back." "Dig, dig! Push, push!" "Now make a big circle. Let's dance to the music!"
展開2	5	子どもを数人前に出し、絵カードを見せながら英語の指示を出させる。ほかの子は指示どおりに動く。指示を出す子はカードを順番に選んでよい。全員が1回は指示を出せるよう、グループに分けて行ってもよい。	交代で前に出て、カードを見ながら英語で指示を出す。ほかの子は指示どおりに動く。	"Who wants to be the teacher? Come here." "Choose a card and say it. Everyone, listen and move." "Turn around! Great!" "Next teacher, please."
まとめ	2	最後にもう一度全員で輪になって踊る。「盆踊りは、お盆に帰ってくるご先祖さまを迎えて供養するための踊り」と伝え、今日覚えた動作の英語をカードで確認して終わる。	全員でもう一度踊り、覚えた英語を声に出して確かめる。	"One more time, everyone!" "Bon dancing is for summer nights at Obon." "What did we learn today? Clap, step, turn, dig, and push."

板書例

Bon Dance 🎑

- 👏 Clap your hands.
- 👣 Step forward. / Step back.
- 🔄 Turn around.
- 🔪 Dig, dig.
- 👉 Push, push.

輪になって踊る：Let's dance in a big circle!

✓ 評価のポイント

- 英語の指示を聞いて、正しい動作ができたか（踊りの見取り）。
- 前に出たとき、カードを見て英語の指示を1つ以上言えたか。
- 友だちの指示を聞いて、楽しく動けたか。

👉 つまづきへの手だて

- 聞き取りが不安な子には、先生が指示と同時に絵カードを高く上げて見せる。
- 前に出るのをためらう子には、先生と一緒に言う、またはカードを見せる係にする。
- 動きについていけない子は、先生のすぐ後ろの位置に入れて、まねしやすくする。

🔥 発展

- Jump. / Raise your hands. など新しい動作を子どもが考え、オリジナルの盆踊りを作る。
- 基本セット p.8 のなぞり書きで cucumber / eggplant / horse を書く。
- 基本セット p.3 のマッチング（drum / lantern / fire）で、お盆の物の英語を覚える。

📖 使う教材

- 基本セット p.3（マッチング）
- 基本セット p.8（なぞり書き・ぬりえ）
- このサイトの英語ページ本文（第4段落）の音声



5. 外国人のホストにお盆を説明するロールプレイ

授業手順書（詳細版）／対象：英会話教室／25分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

「何か→意味→過ごし方」の流れで、相手の質問に答えながらお盆を英語で説明できる。自分の家の過ごし方を入れた会話を作って発表できる。

準備

- このサイトの英語ページの会話（Kenta と Sophie）のプリントと音声
- 質問カード（Is it a holiday? / Is it sad? / Why a cucumber? / What do you eat? / Where do you go? / Is it like the Day of the Dead?）
- アクティビティ集 B3 ロールプレイのカード
- 精霊馬の写真

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	会話の音声を聞かせ、そのあと役を決めてペアで読ませる。説明の流れを「何か（It's a Buddhist festival.）→意味（The spirits of our ancestors come home.）→過ごし方（Bon dancing at night）」の3つに分けて板書し、会話のどの行にあたるか線を引かせる。	会話を聞いて役を決めて読み、説明の3つの流れにあたる行を見つける。	"Listen to Kenta and Sophie." "Now read it in pairs. A is Kenta. B is Sophie." "Kenta explains in three steps: what it is, what it means, and what people do." "Find each step in the dialogue."
展開1	8	質問カードを裏返しに置き、1人が引いて読み、もう1人が答える。答え方の例を板書する（Is it a holiday? → It's not a national holiday, but many companies close. / Is it sad? → Not really. Families get together.）。答えたら役を交代して次のカードを引く。	質問カードを引いて読み、相手が答える。交代しながらいろいろな質問に答える練習をする。	"Pick a card and read the question." "Is it a holiday? It's not a national holiday, but many companies close." "Is it sad? Not really. Families get together." "Take turns. Try to answer in two sentences."
展開2	10	自分の家のお盆の過ごし方（帰省先・お墓参り・食べるもの・盆踊りなど）を入れて、オリジナルの会話を作らせる。会話の後半（Do you want to come to the Bon dance tonight? の部分）を自分の家の話に入れ替えるとよいと助言する。できたペアから2組ずつ前で発表する。	自分の家のお盆の話を入れたオリジナルの会話を作り、ペアで発表する。	"Now make your own dialogue. Use your family's Obon." "Where do you go? What do you do? What do you eat?" "For example, I go to my grandma's house in Niigata. We visit the grave together." "Let's perform. Who wants to go first?"
まとめ	2	発表で使われたよい表現（I'm going back to my hometown for Obon. など）を板書し、全員で言う。「帰省する」は go back to my hometown と言えることを確認して終わる。	よい表現を全員で言い、ノートに書き写す。	"Here is a useful sentence. I'm going back to my hometown for Obon." "Say it together." "Next time someone asks you about Obon, you can answer!"

板書例

How to explain Obon

- ① What is it? It's a Buddhist festival for our ancestors.
- ② Meaning The spirits of our ancestors come home.
- ③ What we do We visit the grave. / Bon dancing at night.

Q: Is it a holiday? → It's not a national holiday, but many companies close.

Q: Is it sad? → Not really. Families get together.

帰省する：I'm going back to my hometown for Obon.

評価のポイント

- 質問カードに、2文で答えられたか。
- オリジナルの会話に「何か→意味→過ごし方」の3つが入っているか。
- 自分の家の具体的な過ごし方（場所・すること）を英語で言えたか。

つまづきへの手だて

- 答えに詰まる生徒には、板書の答え方の例を指さし、そのまま使ってよいと伝える。
- 家でお盆の行事をしない生徒には、「お盆休みに何をするか」（I stay home and watch TV. など）を話せばよいと伝える。
- 会話を作るのが難しいペアには、本文の会話の一部の語句だけを入れ替える形にする。

発展

- Is it like the Day of the Dead? のカードに答えられるよう、記事の国別くらべの表でメキシコの死者の日を読む。
- 基本セット p.7 の作文（During Obon, my family usually _____. I like it because _____.）を書く。
- Find Someone Who（基本セット p.7）で、クラスの人のお盆の体験を聞き合う。

使う教材

- このサイトの英語ページの会話と音声
- アクティビティ集 B3（ロールプレイ）
- 基本セット p.7（Find Someone Who・作文）